

# おだわら水道ビジョン (経営戦略)

～ いつまでも安心しておいしい水をお届けします ～



令和4年6月(改定)  
小田原市上下水道局



# 水道事業の将来像と施策設定

基本理念である“いつまでも安心でおいしい水をお届けします”を実現するため、国の新水道ビジョンの理想像である「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点を柱に、水道事業を取り巻く社会情勢を踏まえ、将来像を掲げました。

その将来像の実現に向け、水道事業の様々な課題の解決を図ることはもとより、第6次小田原市総合計画におけるまちづくりの目標及びSDGsにおける持続可能な開発目標などを踏まえ、8つの基本施策と24の個別施策を次のとおり定めました。

## 基本理念

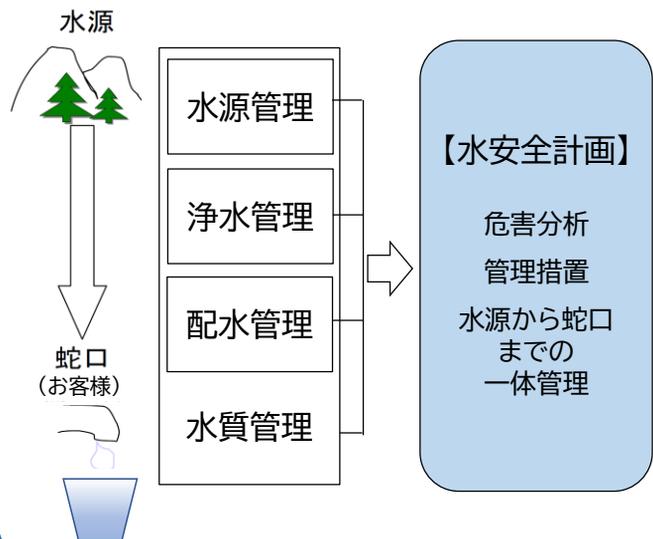
### いつまでも安心でおいしい水をお届けします

観点	将来像	基本施策	個別施策
安全	安全でおいしい水道	1. 安全な水質の維持	1-1 水安全計画の運用 <b>1</b>
			1-2 水質監視の継続実施 <b>2</b>
			1-3 鉛製給水管対策
			1-4 おいしい水の追求
強靱	災害に強い水道	2. 水道施設の耐震化	2-1 浄水施設の耐震化 <b>3</b>
			2-2 配水施設の耐震化 <b>4</b>
			2-3 管路の耐震化 <b>5</b>
			3. 水道の安定供給
	3-2 水道施設の維持管理の充実		
	3-3 漏水対策 <b>6</b>		
	4. 危機管理対応の強化	4-1 断水リスクの軽減 <b>7</b>	
		4-2 多様な災害への対応	
4-3 危機管理体制の充実			
4-4 応急給水・復旧体制の強化			
持続	健全経営を保つ水道	5. 事業経営の効率化	5-1 公民連携の推進 <b>8</b>
			5-2 デジタル技術の活用 <b>9</b>
			5-3 継続的な事業運営
			6. お客様サービスの向上
	6-2 広報活動 <b>10</b>		
	7. 組織力の維持向上	7-1 水道技術の継承	
		7-2 人材の有効活用	
		7-3 広域連携	
8. 環境に配慮した取り組み		8-1 脱炭素社会実現に向けた取り組み <b>11</b>	
	8-2 都市環境への対応		

# 将来像 | 安全でおいしい水道

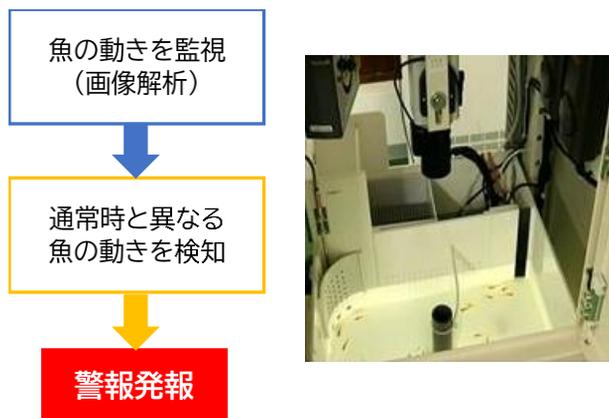
## 1 水安全計画の運用

水道水の危害分析・管理措置をまとめた水安全計画の運用を継続し、安全な水質の維持に努めます。



## 2 水質監視の継続実施

水質分析機器の整備や職員のスキルアップに努め、臭気や油を検知できる設備の新規導入や、毒劇物等の汚染を検知できる設備の更新による水質異常の検知能力の向上を図ります。



バイオアッセイ設備(魚類監視装置)のイメージ

# 将来像 | 災害に強い水道

## 3 浄水施設の耐震化

「浄水施設の耐震化率」  
R2:13.0% → R13:98.5%

本市水道事業最大の基幹施設である高田浄水場の更新を着実に実施し、令和11年度の完成を目標としています。

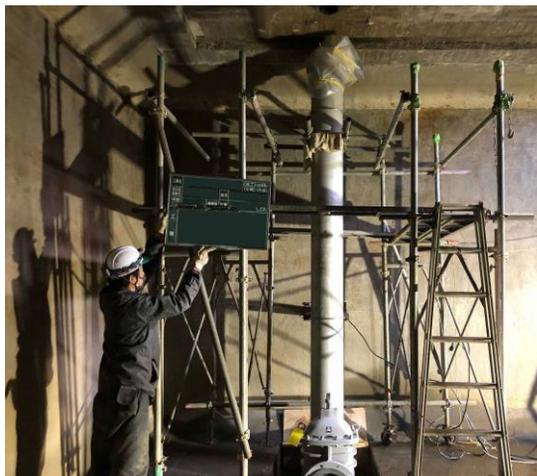


再整備後の高田浄水場イメージ

重要給水施設や中心市街地に水道水を供給する久野配水池の耐震化を着実に実施するとともに、他の配水施設についても耐震化の検討を進めます。



場内配管の耐震化工事



池内配管の耐震化工事

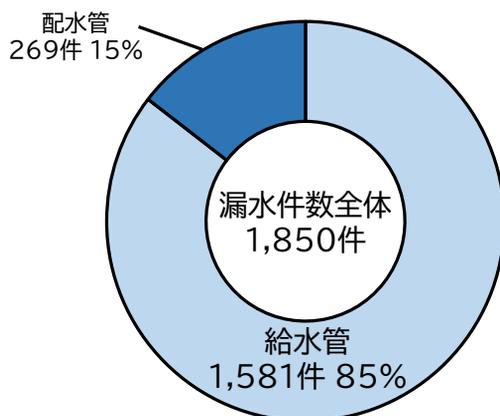
本市独自に管路の耐震性レベルを3段階に設定します。また、令和13年度までに耐震性に乏しいレベル0非耐震管に分類される基幹管路の解消を目指します。

分類	解説	管種(継手形式)
Lv.0 非耐震管	耐震性に乏しく、地震時に破損する可能性が高い管路	ねじ鋼管 普通鋳鉄管(印ろう形) など
Lv.1 耐震管	震度6弱でも一定の耐震性がある管路	ダクタイル鋳鉄管(A形・K形等)
Lv.2 耐震管	震度6強以上でも一定の耐震性がある管路	タグタイル鋳鉄管(NS形、GX形等) 溶接鋼管 高性能高密度ポリエチレン管 など

漏水の多いねじ鋼管を中心とした配水支管の更新を進めるとともに、給水管の更新も進め、漏水件数の削減に努めます。また、漏水調査についても、ICTやAIを活用した新たな漏水調査方法の検討を行います。

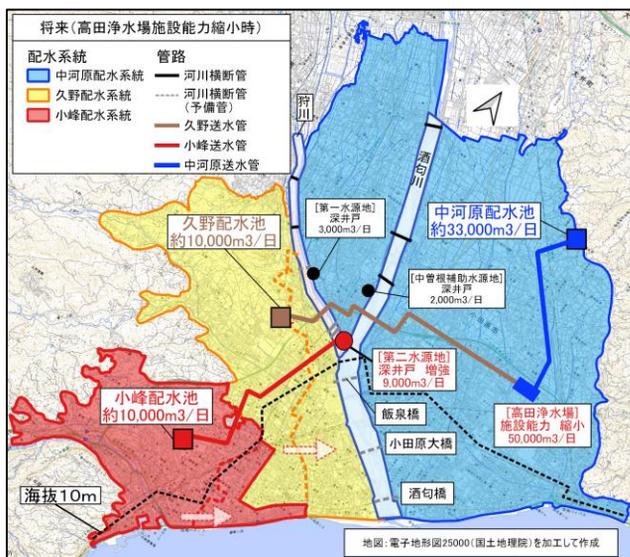
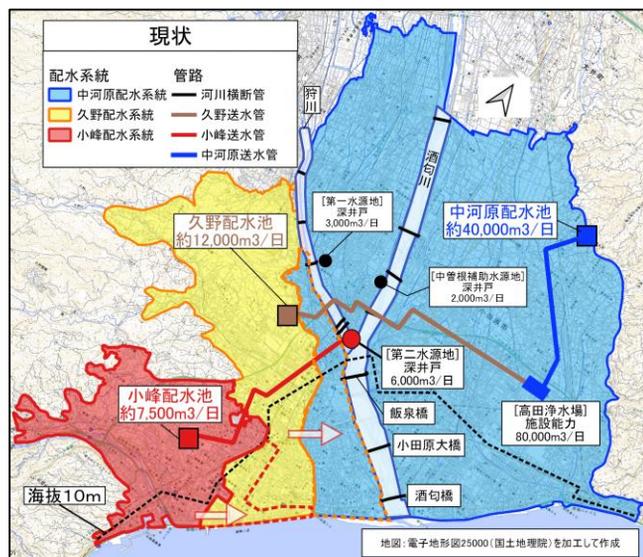


配水管の漏水修理の様子



過去10年間の漏水実績

第二水源地に深井戸を増設し、高田浄水場が担う配水量の軽減を図ります。また、配水システムのエリア変更を行うことで、酒匂川横断管3本を予備管とし、津波による断水リスクを解消します。



## 将来像 | 健全経営を保つ水道

### 8 公民連携の推進

高田浄水場再整備事業をDBO（Design Build Operate）方式によって実施し、水道法上の責任の一部を受託者が負う「第三者委託」を導入します。

### 9 デジタル技術の活用

水道管路情報管理システムの充実や設備台帳システムの導入に努めます。また、水道スマートメーターなどの新たなIoTについても調査・検討を行い、一層の事業経営の効率化に努めます。



ドローンによる水管橋の点検の様子

### 10 広報活動

多様な媒体によりイベントや断水情報といった様々な情報を広報し、「水道は、自分を含みみんなの財産」という意識の醸成を図ります。



水道週間でのパネル展示

### 11 脱炭素社会実現に向けた取り組み

高田浄水場への太陽光発電設備の導入や、高効率機器の活用、庁舎照明のLED化による省エネルギー対策を進めます。



太陽光パネル設置のイメージ

# 経営戦略

## 財政目標

- 1 令和13年度末時点の内部留保資金を12億円確保します。
- 2 可能な限りプライマリーバランスを確保するよう努め、令和23年度末時点の企業債未償還残高が100億円を下回るようにします。

## 投資財政計画

水道事業の経営環境が厳しさを増す中、経営の効率化を最大限図ったとしても、将来的な水道料金の見直しをせずに経営の健全化を維持することは困難な状況になると予想されます。

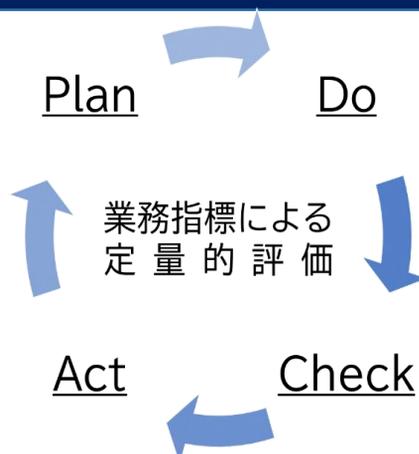
(単位:百万円)

項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
水道事業収益	3,229	2,883	2,826	2,779	2,732	2,686	2,637	2,595	2,554	2,512
営業収益	2,592	2,458	2,409	2,365	2,323	2,287	2,242	2,203	2,166	2,127
営業外収益	637	425	417	414	409	399	395	392	388	385
水道事業費用	3,098	2,734	2,755	2,723	2,861	3,002	3,108	2,924	2,850	3,041
営業費用	2,798	2,596	2,624	2,593	2,724	2,834	2,929	2,748	2,675	2,875
営業外費用	300	138	131	130	137	168	179	176	175	166
当期純損益	131	149	71	56	△129	△316	△471	△329	△296	△529
資本的収入	995	793	1,190	1,729	4,148	2,270	930	1,170	370	370
資本的支出	2,196	1,888	2,369	3,041	6,178	3,967	2,378	2,698	1,704	1,715
内部留保資金	1,994	2,197	2,289	2,303	1,856	1,450	886	429	79	△323

## フォローアップ

本ビジョンで示す将来像に向け、施策を進めるなかで、推進状況とその効果について5年を目途に業務指標 PI に基づき分析し、業務やサービス水準、経営状況等がどのように変化・改善しているかを評価します。

計画と達成状況に大きな乖離が見られた場合は適宜計画の見直しを行います。見直しに当たっては、計画の修正点・改善点を反映させて実行するPDCAサイクル(「計画(Plan)－実施(Do)－検証(Check)－見直し・改善(Act)」)を活用し、継続的に進捗を管理していきます。



# 小田原市の水道施設



凡例	
	中河原配水系統
	久野配水系統
	小峰配水系統
	片浦配水系統
	県営水道給水区域(橘地区)
	水源地
	浄水場
	配水池
	加圧ポンプ所
	導水管
	送水管
	市境



小田原市  
上下水道局

〒250-0296 小田原市高田401  
電話 0465-41-1202(代)